

警察常任委員会資料  
令和4年2月14日

## 重要犯罪の情勢とその対策について



警 察 本 部

# 目 次

第 1	犯罪情勢等	3
1	刑法犯認知・検挙状況	3
2	重要犯罪の認知・検挙状況等	4
(1)	認知・検挙状況	4
(2)	罪種別認知状況	5
(3)	被疑者の性別	5
(4)	再犯者率	5
3	重要犯罪の罪種別認知・検挙状況等	6
(1)	殺人	6
(2)	強盗	8
(3)	放火	9
(4)	性犯罪	10
(5)	略取誘拐	12
第 2	検挙対策等	13
1	捜査力の強化	13
(1)	機動的な捜査活動	13
(2)	現場鑑識活動の強化	13
(3)	未解決重要事件に対する捜査の強化	14
2	科学技術の活用	15
(1)	DNA型鑑定	15
(2)	情報分析	15
(3)	防犯カメラの活用	16
(4)	AI技術の活用	16
第 3	刑事捜査員の育成	17

※ 資料中の統計数値は、令和3年12月末暫定値である。

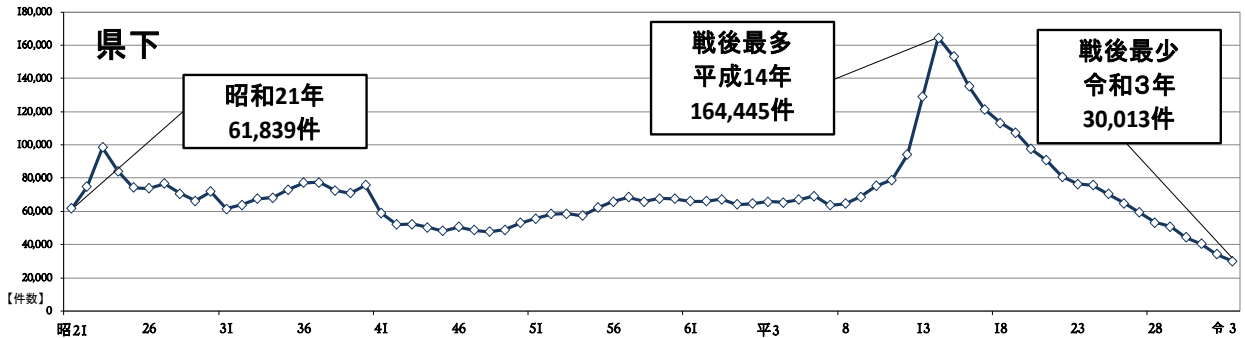
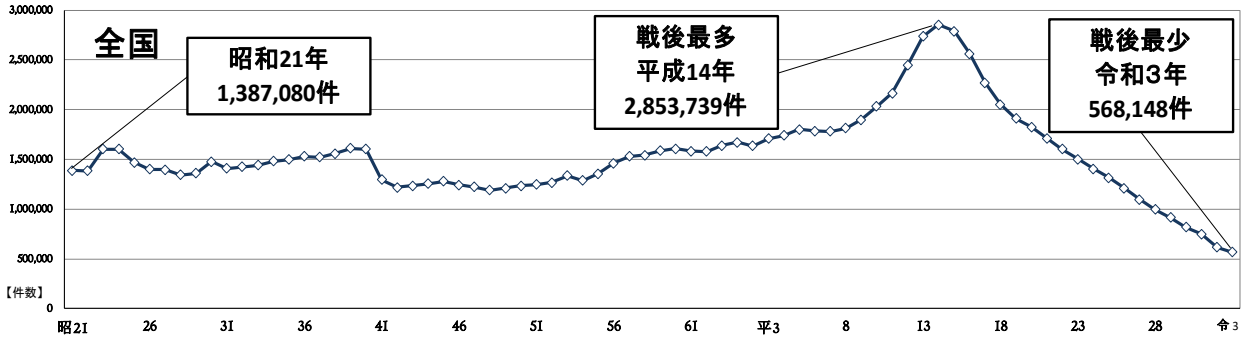
※ 統計図表中の構成比等は、四捨五入してあるため、合計が必ずしも100.0にならない場合がある。

# 第1 犯罪情勢等

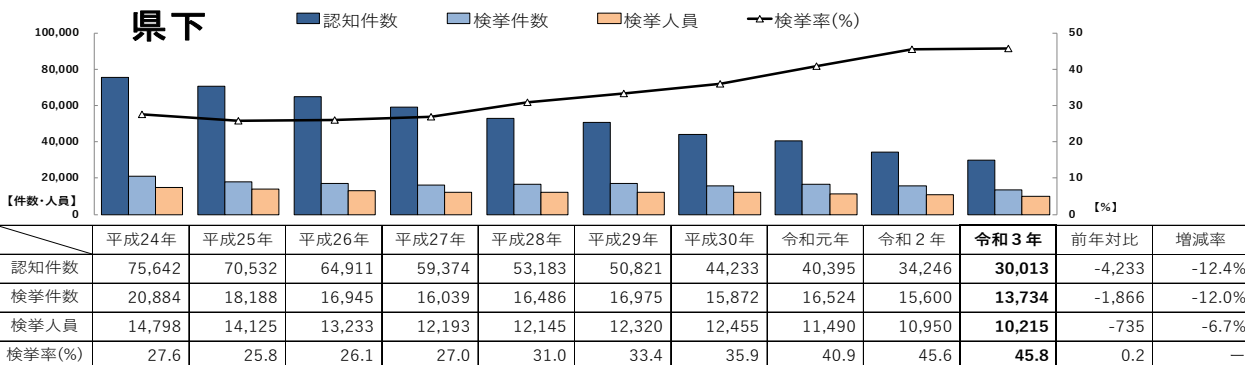
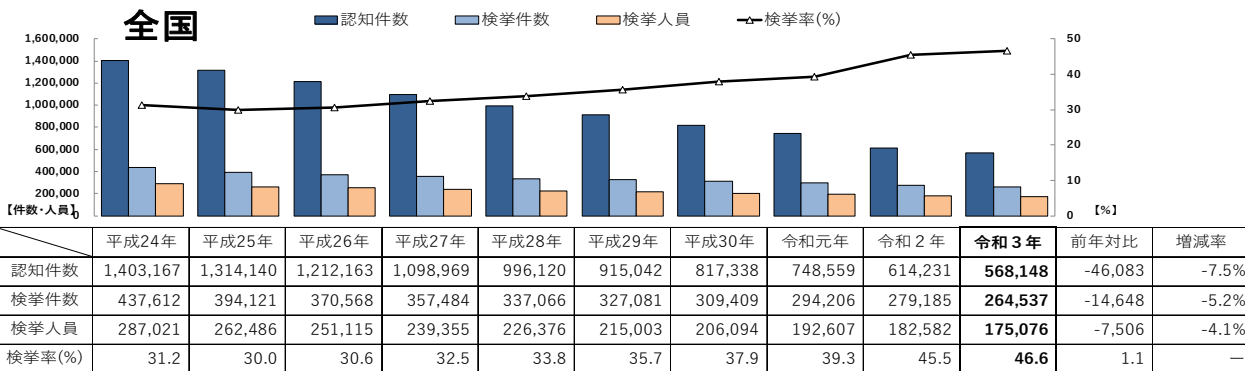
## 1 刑法犯認知・検挙状況

全国及び県下における刑法犯認知件数（昭和21年～令和3年）は、平成14年に戦後最多を記録以降減少を続けており、令和3年中は戦後最少となった。

【刑法犯認知件数の推移（昭和21年～令和3年）】



【刑法犯認知・検挙状況（過去10年推移）】



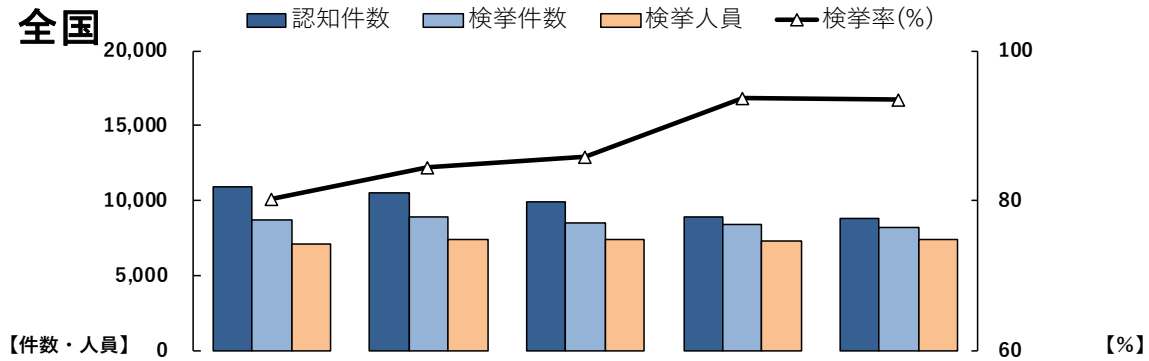
## 2 重要犯罪の認知・検挙状況等

重要犯罪とは、殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐、強制わいせつをいう。

### (1) 認知・検挙状況

全国の認知件数は減少傾向で推移しており、令和3年中は8,823件、刑法犯認知件数の約1.5%を占めている。

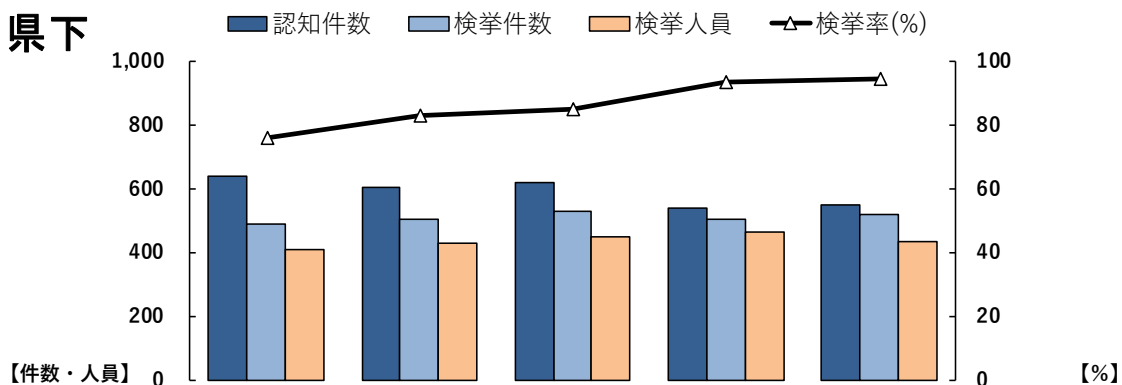
【重要犯罪認知・検挙状況（過去5年推移）】



	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	前年対比	増減率
認知件数	10,888	10,544	9,899	8,935	8,823	-112	-1.3%
検挙件数	8,747	8,908	8,507	8,369	8,240	-129	-1.5%
検挙人員	7,090	7,373	7,386	7,317	7,368	51	0.7%
検挙率(%)	80.3	84.5	85.9	93.7	93.4	-0.3	-

県下の認知件数は600件前後で推移しており、令和3年中は551件、刑法犯認知件数の約1.8%を占めている。

【重要犯罪認知・検挙状況（過去5年推移）】



	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	前年対比	増減率
認知件数	641	608	622	541	551	10	1.8%
検挙件数	489	505	529	507	522	15	3.0%
検挙人員	410	431	450	467	434	-33	-7.1%
検挙率(%)	76.3	83.1	85.0	93.7	94.7	1.0	-

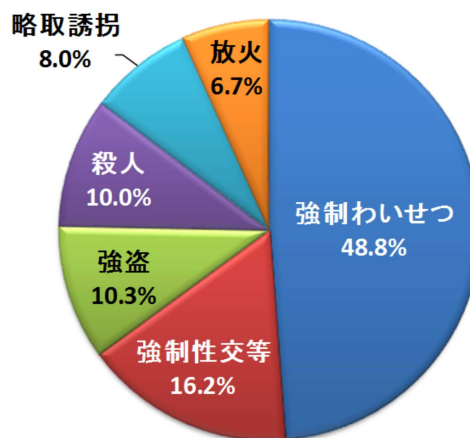
## (2) 罪種別認知状況

県下の重要犯罪の罪種別認知件数は、強制わいせつが48.8%を占めており、強制性交等と合わせると性犯罪が65.0%を占めている。

罪名	認知件数	割合
強制わいせつ	269 (-15)	48.8%
強制性交等	89 (+26)	16.2%
強盗	57 (-31)	10.3%
殺人	55 (+8)	10.0%
略取誘拐	44 (+16)	8.0%
放火	37 (+6)	6.7%

( ) 内は前年対比  
認知件数には未遂事件も含む

重要犯罪に占める罪種別割合（令和3年）

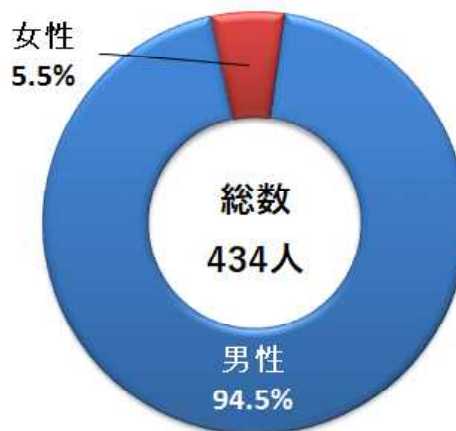


## (3) 被疑者の性別

重要犯罪の被疑者の性別は、男性が94.5%を占めている。

性別	人数	割合
男性	410人	94.5%
女性	24人	5.5%

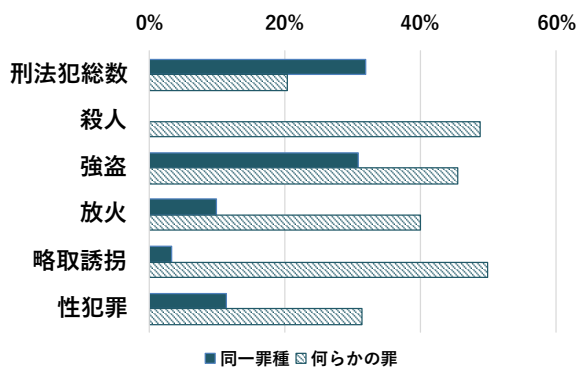
重要犯罪被疑者の性別割合（令和3年）



## (4) 再犯者率

令和3年の再犯者率（成人に限る。）は、同一罪種では強盗、何らかの罪においては略取誘拐が高くなっている。

	検挙人員	同一罪種	再犯者率	何らかの罪	再犯者率
刑法犯総数	9,270	2,966	32.0%	1,890	20.4%
殺人	43	0	0.0%	21	48.8%
強盗	55	17	30.9%	25	45.5%
放火	20	2	10.0%	8	40.0%
略取誘拐	30	1	3.3%	15	50.0%
性犯罪	235	27	11.5%	74	31.5%
強制性交等	64	3	4.7%	19	29.7%
強制わいせつ	171	24	14.0%	55	32.2%



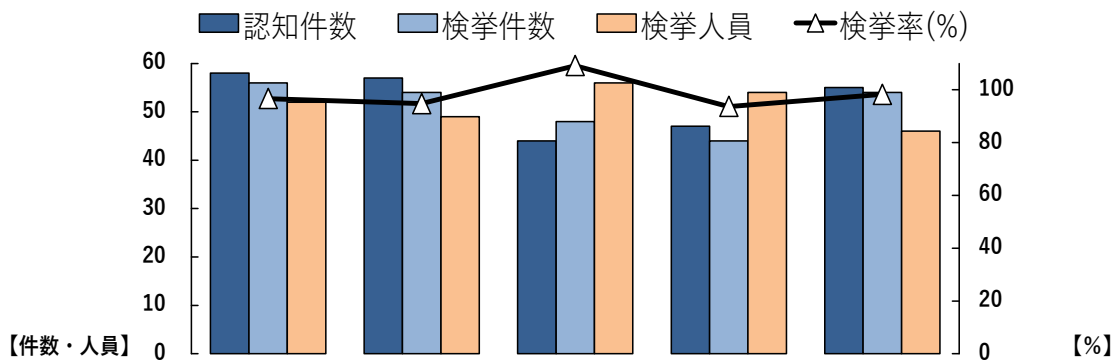
### 3 重要犯罪の罪種別認知・検挙状況等

#### (1) 殺人

##### ア 情勢

殺人事件の認知件数は40件から50件台で推移しており、令和3年中は55件、検挙率は98.2%となった。

【殺人認知・検挙状況推移（過去5年）】

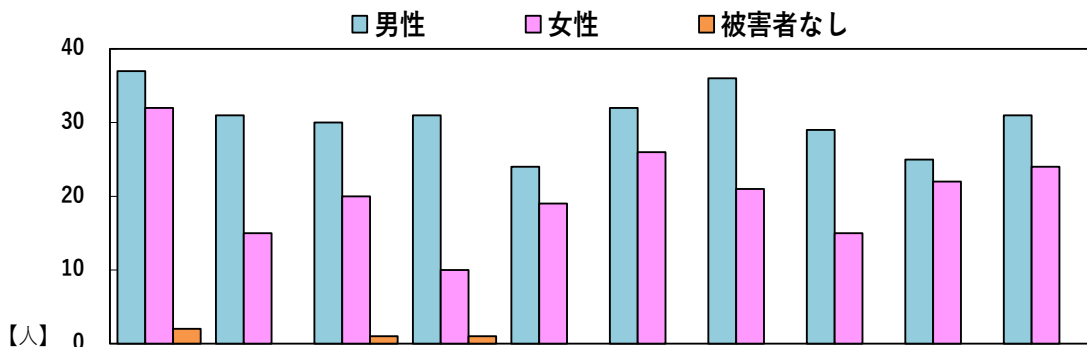


	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	前年対比	増減率
認知件数	58	57	44	47	55	8	17.0%
検挙件数	56	54	48	44	54	10	22.7%
検挙人員	52	49	56	54	46	-8	-14.8%
検挙率(%)	96.6	94.7	109.1	93.6	98.2	4.6	-

##### イ 被害者の性別

殺人事件の被害者を性別で見ると男性が31人、女性が24人であった。

【被害者の男女別推移（過去10年）】



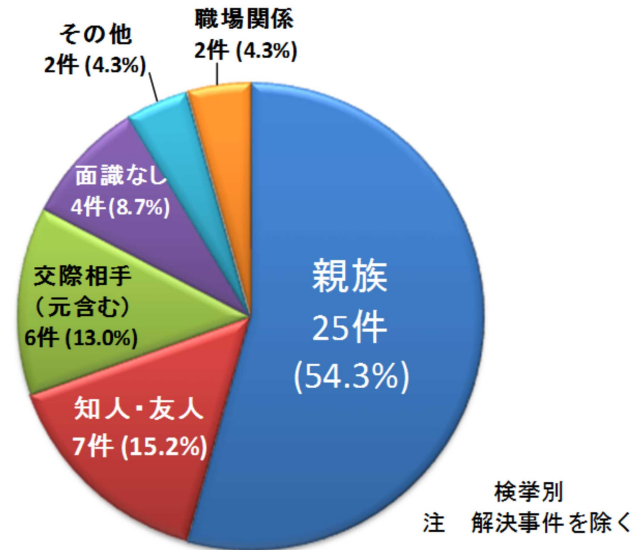
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	前年対比
合計	71	46	51	42	43	58	57	44	47	55	8
男	37	31	30	31	24	32	36	29	25	31	6
割合(%)	52.1	67.4	58.8	73.8	55.8	55.2	63.2	65.9	53.2	56.4	3.2
女	32	15	20	10	19	26	21	15	22	24	2
割合(%)	45.1	32.6	39.2	23.8	44.2	44.8	36.8	34.1	46.8	43.6	-3.2
被害者なし	2		1	1							
割合(%)	2.8		2.0	2.4							

※ 被害者なしは、特定の被害者を対象としない殺人予備

## ウ 被疑者と被害者の関係

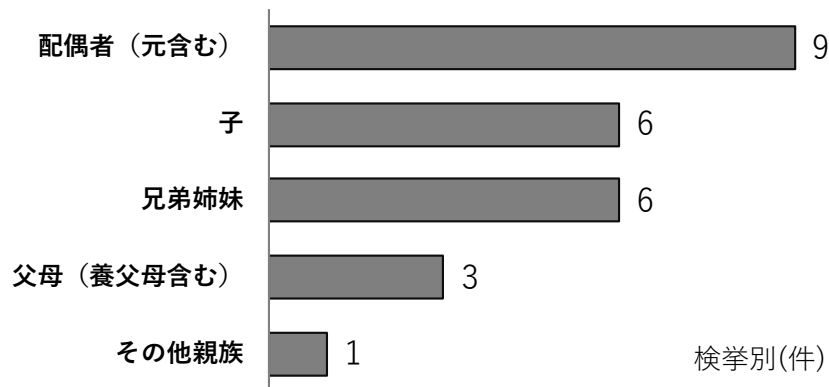
被害者との関係を被疑者の立場から見ると、親族が最も多く、次いで知人・友人となった。

被疑者と被害者の関係（令和3年）



親族間においては、配偶者（元含む）が最も多く、次いで子及び兄弟姉妹となった。

親族間の被疑者と被害者の関係（令和3年）



## エ 事件検挙例

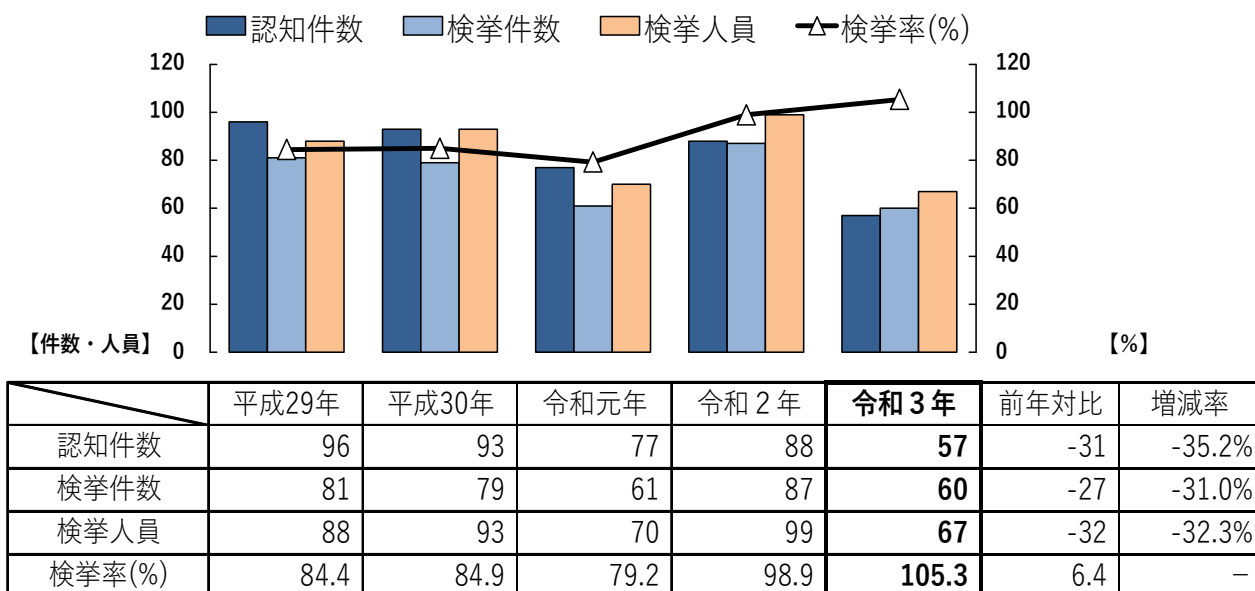
- 兵庫県尼崎市昭和通における女性殺人事件  
令和3年10月16日逮捕
- 兵庫県姫路市名古山町における女性殺人等事件  
令和3年11月6日逮捕

## (2) 強盗

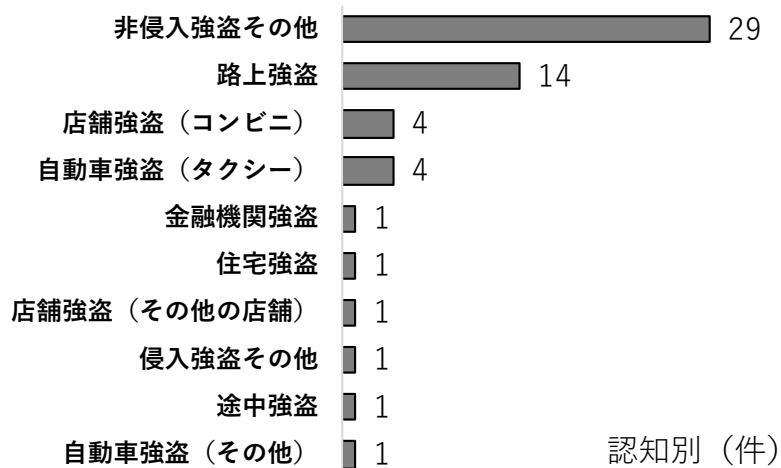
### ア 情勢

強盗事件の認知件数は令和2年に増加したが減少傾向にあり、令和3年中は57件、検挙率は105.3%であった。

【強盗認知・検挙状況推移（過去5年）】



犯行形態別認知件数（令和3年）



### イ 事件検挙例

- 神戸市北区における被疑者多数による強盗致傷事件

令和3年11月15日逮捕

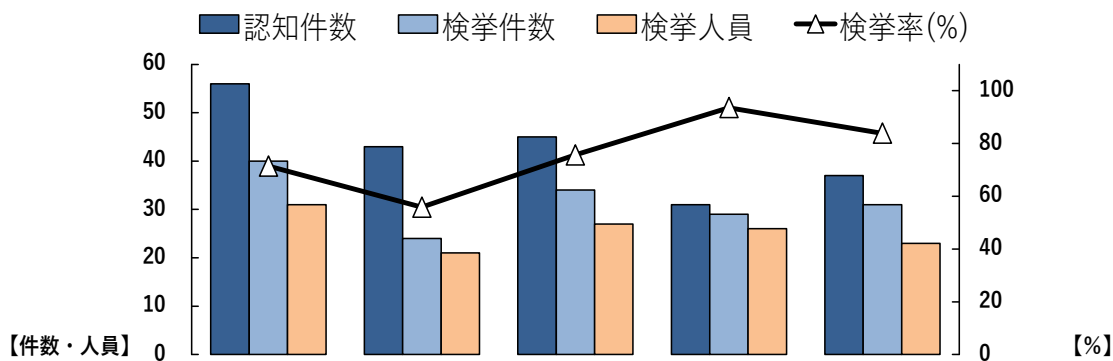


### (3) 放火

#### ア 情勢

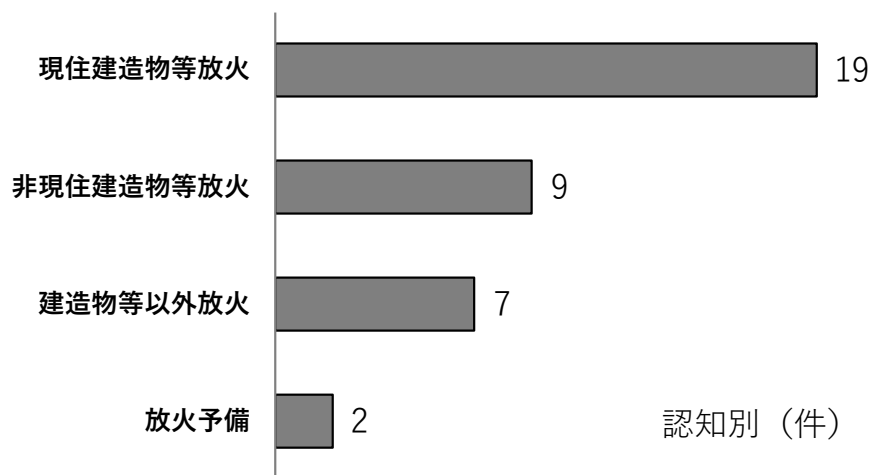
放火の認知件数は増減を繰り返し、令和3年中の認知件数は37件、検挙率は83.8%であった。

【放火認知・検挙状況推移（過去5年）】



	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	前年対比	増減率
認知件数	56	43	45	31	<b>37</b>	6	19.4%
検挙件数	40	24	34	29	<b>31</b>	2	6.9%
検挙人員	31	21	27	26	<b>23</b>	-3	-11.5%
検挙率(%)	71.4	55.8	75.6	93.5	<b>83.8</b>	-9.7	-

罪種別認知件数（令和3年）



#### イ 検挙事例

- 兵庫県加古郡稲美町における現住建造物等放火、殺人事件  
令和3年11月24日逮捕

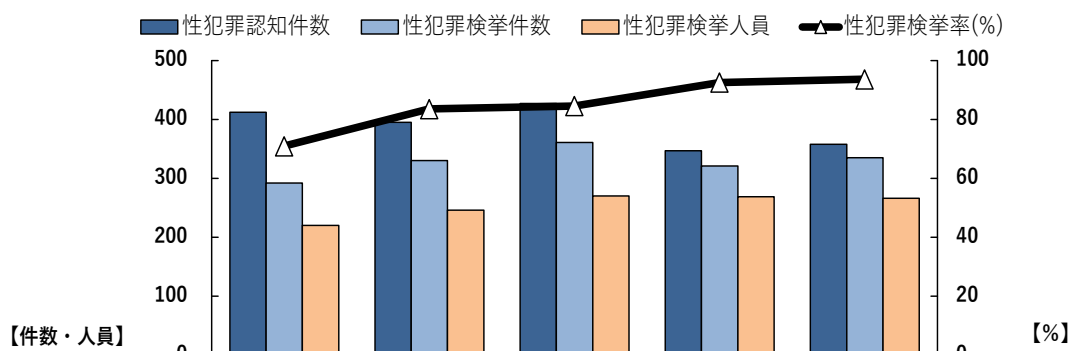
#### (4) 性犯罪

性犯罪とは、本資料において強制性交等及び強制わいせつを合わせた罪を性犯罪と定義する。

##### ア 情勢

性犯罪の認知件数は300件台から400件台で推移しており、令和3年中は358件、検挙率は93.6%であった。

【性犯罪認知・検挙状況推移（過去5年）】



	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	前年対比	増減率
性犯罪認知件数	412	395	427	347	358	11	3.2%
強制性交等	52	88	89	63	89	26	41.3%
強制わいせつ	360	307	338	284	269	-15	-5.3%
性犯罪検挙件数	292	330	361	321	335	14	4.4%
強制性交等	43	70	84	75	78	3	4.0%
強制わいせつ	249	260	277	246	257	11	4.5%
性犯罪検挙人員	220	246	270	269	266	-3	-1.1%
強制性交等	42	70	72	80	76	-4	-5.0%
強制わいせつ	178	176	198	189	190	1	0.5%
性犯罪検挙率(%)	70.9	83.5	84.5	92.5	93.6	1.1	—
強制性交等	82.7	79.5	94.4	119.0	87.6	-31.4	—
強制わいせつ	69.2	84.7	82.0	86.6	95.5	8.9	—

##### イ 被害者の年齢等

被害者の年齢は、20歳未満の割合が最も多くなっている。

また、被害者が女性の割合は、

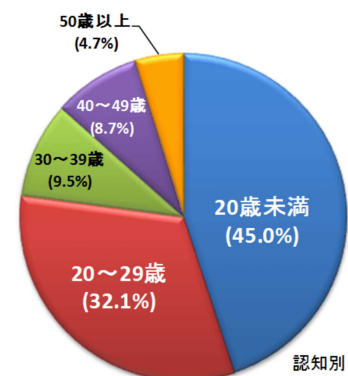
強制性交等 95.5%

強制わいせつ 94.4%

であった。

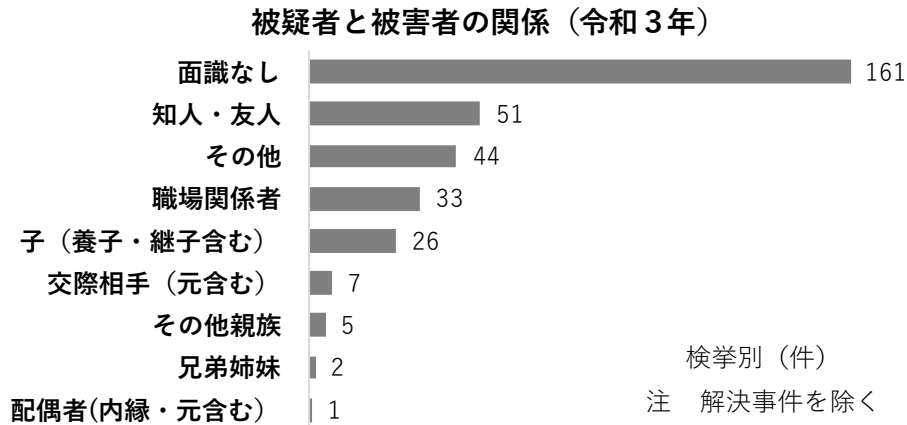
	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計(うち男性)
性犯罪	161	115	34	31	17	358 (19)
強制性交等	41	28	12	5	3	89 (4)
強制わいせつ	120	87	22	26	14	269 (15)

被害者の年齢別割合（令和3年）



## ウ 被疑者と被害者の関係

被疑者と被害者の関係は、面識なしの割合が最も多くなっている。



## エ 被害者支援

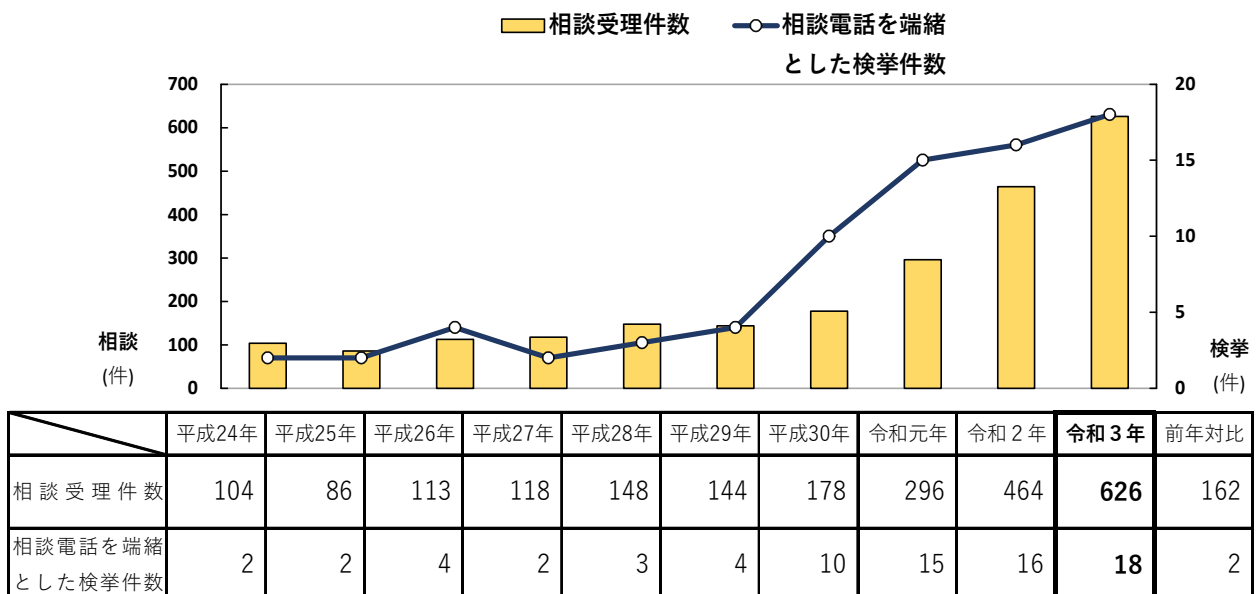
被害者の精神的負担軽減、被害の潜在化防止のため相談しやすい環境づくりを推進している。

- ・ 県下の警察官約1,010名（うち女性警察官約640名）を性犯罪指定捜査員に指定
- ・ 平成31年4月1日から性犯罪被害110番をフリーダイヤル化



【性犯罪被害110番の受理状況】

【性犯罪被害110番受理状況等推移】

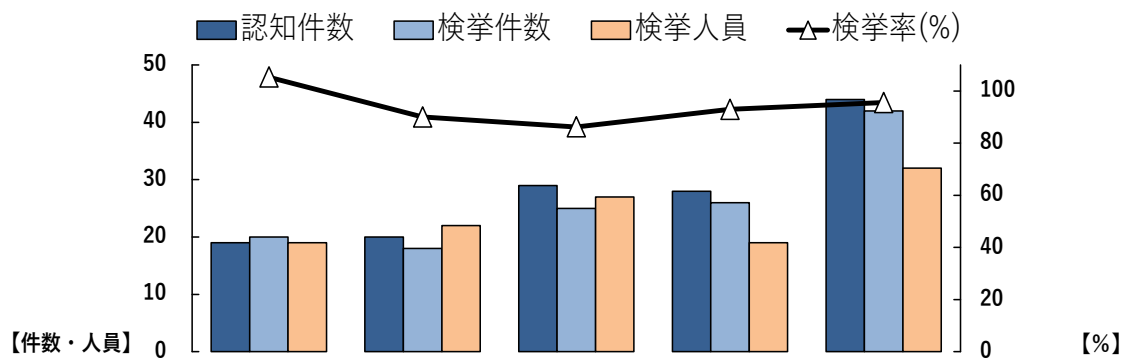


## (5) 略取誘拐

### ア 情勢

略取誘拐の認知件数は増加傾向にあり、令和3年中は44件、検挙率は95.5%であった。

【略取誘拐認知・検挙状況推移（過去5年）】



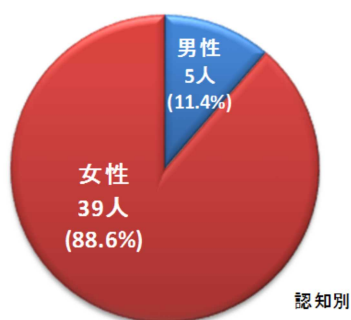
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	前年対比	増減率
認知件数	19	20	29	28	44	16	57.1%
検挙件数	20	18	25	26	42	16	61.5%
検挙人員	19	22	27	19	32	13	68.4%
検挙率(%)	105.3	90.0	86.2	92.9	95.5	2.6	-

### イ 被害者の性別等

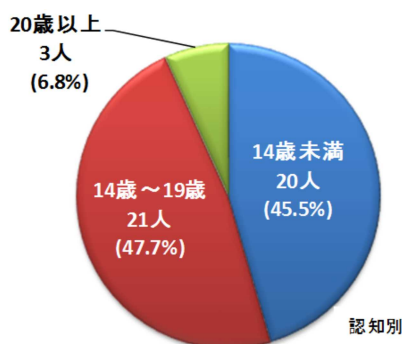
略取誘拐の被害者を見ると、男性が11.4%、女性が88.6%であった。

年齢別に見ると、未成年者が93.2%を占めている。

被害者の性別割合（令和3年）



被害者の年齢別割合（令和3年）

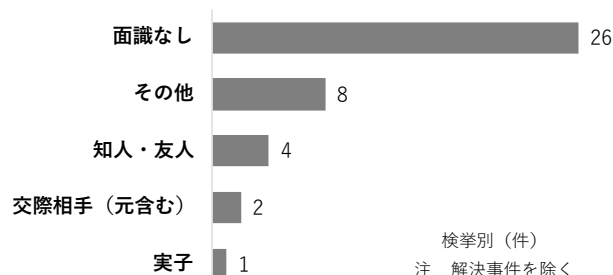


### ウ 被疑者と被害者の関係

被疑者と被害者の関係は、面識なしの割合が最も多くなっている。

また、検挙事件のうちSNS等を利用したものは21件であった。

被疑者と被害者の関係（令和3年）

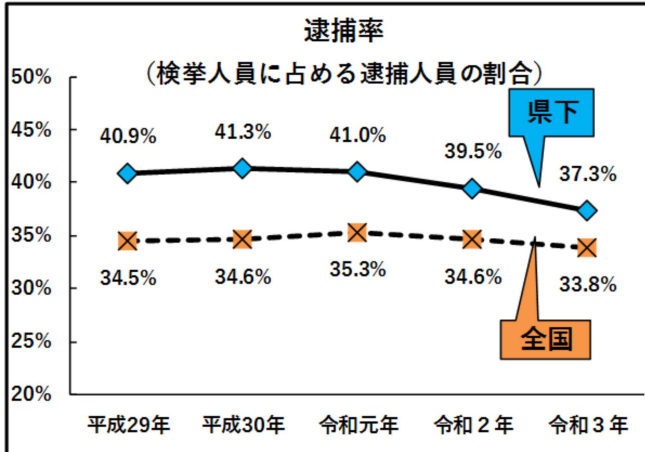


## 第2 検挙対策等

### 1 捜査力の強化

#### (1) 機動的な捜査活動

迅速・的確な初動捜査を行い、被疑者を早期に検挙するとともに、現場周辺における被疑者の追跡、聞き込み、遺留品捜査等を推進している。



【機動捜査隊員による初動捜査活動状況】

#### (2) 現場鑑識活動の強化

事件発生後、直ちに現場臨場して指掌紋、足跡、DNA等の客観証拠の収集を徹底している。



【足跡の採取状況】



【指掌紋の採取状況】

### (3) 未解決重要事件に対する捜査の強化

#### ア 事件を風化させない取組

- ・ 警察施設（警察署、交番、駐在所）でのポスター、チラシ掲示
- ・ 県警ホームページ「捜査にご協力を！」への事件概要及び情報提供の呼びかけ
- ・ 事件の発生日を捉えたチラシの配布

等により情報提供の呼び掛けを実施している。

**加古川市における小学生女児殺人事件**

【事件概要】  
平成19年10月16日(火)午後6時ごろ、兵庫県加古川市別府町において、**鶴屋福寿ちゃん(当時7歳)**が何者かに刺され、殺害されました。

被害者特約の  
福寿ちゃんの遺像

**情報提供者の秘密は厳守します**

- 事件または犯人を目撃した
- 犯人に心当たりがある
- 犯人に関する話を聞いたことがある

など、どんな些細なことでも結構です。

**情報をお寄せ  
ください!!**

連絡先 兵庫県加古川警察署  
加古川市における小学生女児殺人事件捜査本部  
電話 079-427-0110 (代表)  
ホームページアドレス <http://www.police.pref.hyogo.jp/tekyokyoosa@sanfindex.htm>

【ポスター】

**情報をお寄せください**

神戸市須磨区横尾6丁目における女性殺人事件

発生日	平成15年2月21日(金) 午後10時45分ごろ
発生場所	神戸市須磨区横尾6丁目2番地先 路上
事件概要	被害者(当時44歳、女性)が、妙法寺駅から徒歩帰宅中に、何者かに脚を刺され死亡したものと見られる。

この後、  
右の現場にて、  
犯人に刺され  
死亡

うわさ話や、又聞きなど、どんな情報でも結構です。  
ご協力をお願いいたします。

- 不審な人を目撃した。
- 事件のことで気になることがある。
- 犯人に関するうわさ話を聞いた。
- 思い出したことがある。
- 情報を持っている人を知っている。
- 事件後、姿を見なくなった人がいる。

情報は下記捜査本部が県警Webサイトからお知らせください。

**兵庫県須磨警察署 捜査本部**  
所在地：神戸市須磨区大池町5丁目1番30号  
電話番号(代)：(078) 731-0110



【チラシの配布状況】

#### イ 継続捜査の強化

継続的な情報収集活動や最新の鑑定技術を活用した捜査を継続している。

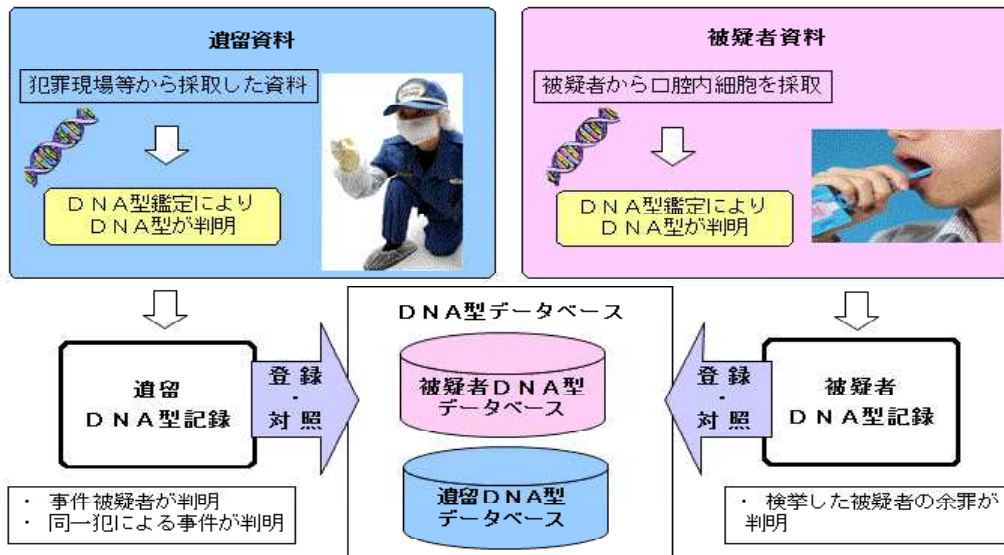
#### ウ 事件検挙例

- 神戸市北区における男子高校生殺人事件（平成22年9月発生）  
令和3年8月4日逮捕
- 兵庫県加東市における強盗強姦事件（平成19年7月発生）  
令和3年9月23日逮捕

## 2 科学技術の活用

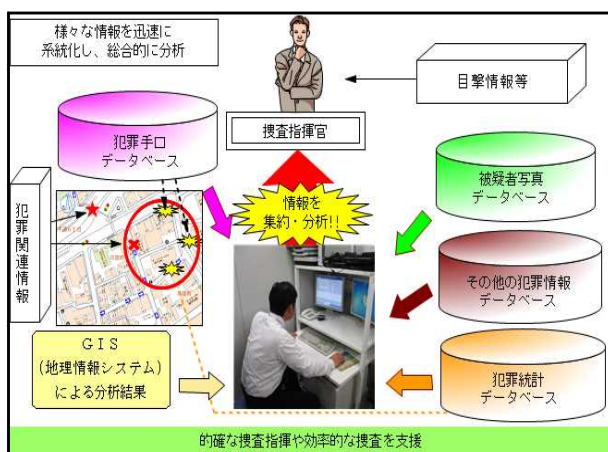
### (1) DNA型鑑定

DNA型鑑定は、重要犯罪等の様々な事件の捜査において、犯人の割り出しや余罪事件の確認等に活用している。



### (2) 情報分析

情報分析支援システムを活用した総合的な分析、統計データや心理学的手法等を用いたプロファイリング等、情報分析の高度化を推進している。



【情報分析支援システム】



【プロファイリング】

### (3) 防犯カメラの活用

#### ア 社会情勢の変化

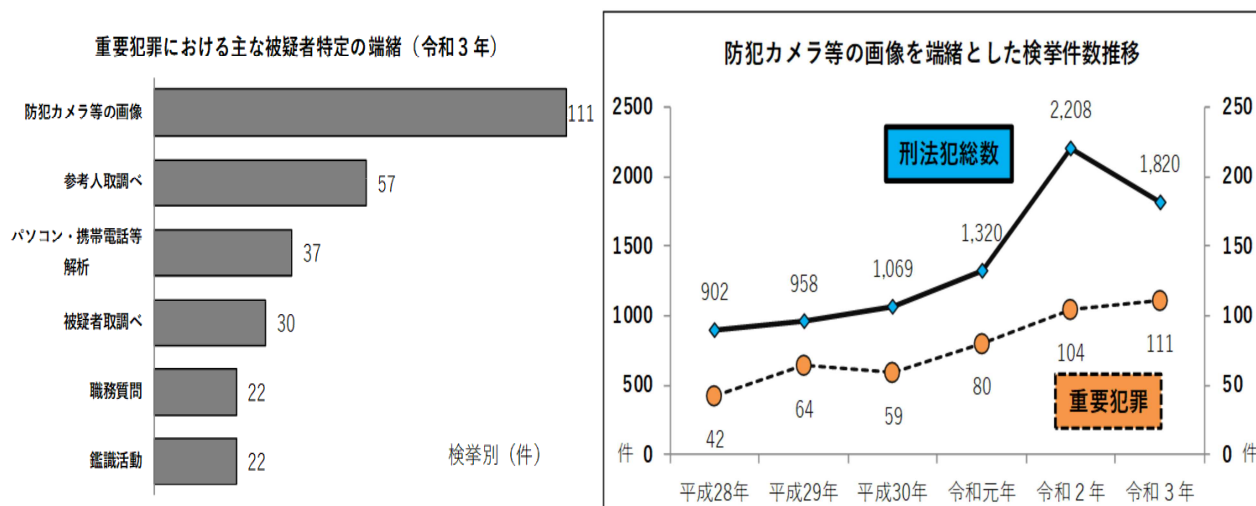
地域住民の防犯意識の向上により防犯カメラ設置件数が増加しており、重要事件等発生時は、防犯カメラ画像が被疑者の特定や犯罪の立証に有用かつ重要となっている。

#### イ 捜査体制の構築

刑事部刑事企画課に設置された機動支援係は、重要事件を始めとする各種犯罪捜査において防犯カメラ画像等を迅速に収集・分析し、効率的な捜査を推進している。

#### ウ 令和3年中の検挙状況

重要犯罪における被疑者特定の端緒では、防犯カメラ画像が最も多くなっている。



### (4) AI技術の活用

県警においては、最新のAI技術を活用した捜査の高度化、効率化に向けた取り組みを推進している。

#### ア 映像解析システム

長時間に及ぶ防犯カメラ画像の解析を自動化し、解析時間を大幅に短縮できる。

#### イ 画像鮮明化システム

現状では読み取り困難・不可能であった車両のナンバープレートの文字を判読できる。



### 第3 刑事捜査員の育成

県警では、捜査員の捜査技能の更なる向上を図るため、様々な教養、実践的訓練のほか、ベテラン捜査員による専門的技能の伝承を推進している。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年中は、一部の教養を中止又は延期したが、資料配付やオンライン等による工夫した教養を実施した。

- 新任刑事への教養
  - ・ 刑事任用科（巡査部長以下を対象）
  - ・ 新任捜査係長講習（警部補を対象）
- 第一線刑事への教養
  - ・ 情報分析専科
  - ・ 取調べ技能専科
  - ・ 性犯罪捜査専科
  - ・ 知能犯捜査専科
  - ・ 窃盗犯捜査専科
  - ・ 鑑識総合専科
  - ・ 語学スキルアップ専科 等の学校教養
  - ・ 録音・録画講習
  - ・ 検視実践塾 等の講習
- 部外（委託）による教養
  - ・ 簿記講習
  - ・ 検察庁特別研修 等の委託教養
- 特別研修制度の運用



【情報分析専科の教養状況】



【オンラインによる録音・録画の教養状況】

刑事警察各分野の中核となって活動する 警察官を育成することを目的として、巡査部長の階級にある者のうちから、巡査部長特別研修生を選考し、1年間の研修を実施している。

- 技能指導官等による伝承教養
 

卓越した知識・技能を有する捜査員を「警察庁指定広域技能指導官」「技能指導官（警察本部長指定）」、技能指導官に準じる程度の専門的技能等を有する捜査員を「刑事伝承官（刑事部長指定）」に指定し、そのノウハウを組織的に活用するため伝承教養を行い、捜査技能の伝承に努めている。

【指定状況】

令和3年12月末現在

名 称	指 定 状 況
警 察 庁 指 定 広 域 技 能 指 導 官	刑事部（組対局含む）で6名を指定
技 能 指 導 官	刑事部（組対局含む）で13名を指定 （6名は広域技能指導官と併任。）
刑 事 伝 承 官	刑事部（組対局含む）で34名を指定